

会場:K101

発表No.	大学名・	概要
C 1	広島修道大学	広島修道大学図書館ピア・サポーターは、「アイから広がる図書館づくり」という理念のもとで、図書館利用者のサポートに取り組んでいます。今回の発表では、より良い図書館づくりにつながる取り組みを企画・実行するグループ活動「ピア・プロジェクト」の内容や、昨年度初めて実施した「大学祭展示」、「成果報告会」について報告します。
C 2	京都大学	当館の学習サポートデスクは2013年10月に設置されました。主に学部学生、留学生に対して、レポートや課題などの学習相談を受け付けています。今までに開催した、レポート講座、オープンキャンパスでの学生生活体験談のプレゼン、英語による図書館ツアー、中国語による文献収集講座などの企画について、ご報告します。
C 3	島根大学	島根大学では2010年から図書館コンシェルジュを発足し、カウンター等で利用者の対応をする利用サポートと、自分たちで企画を立ち上げて実施する自主企画活動を軸として活動を行ってきました。この事例発表では、現在行っていること、今年度新たに行ったこと、それを行った結果等について発表したいと思います。

広島修道大学



2018年9月6日(木)

第8回大学図書館学生協働交流シンポジウム 事例発表 テーマC

広島修道大学 図書館ピア・サポーター



図書館ピア・サポーター活動報告

I．広島修道大学図書館ピア・サポーターとは？

II．活動紹介

III．昨年度の活動を振り返って



広島修道大学 図書館ピア・サポーターとは？

図書館ピア・サポーターとは？

- 図書館利用者をサポートする学生スタッフのことです。
- 今年度は、18名の学生が図書館ピアの理念・目的・目標の実現を目指し、ピア・サポート活動に取り組んでいます。



活動のサイクル

個人

グループ

研修

新人ピア研修* ピア・サポート研修*

計画

目標シート作成
個人面談*

企画書作成
ピア・ミーティング

活動

フロアサポート

おすすめ本展示
ピア・プロジェクト
大学祭展示 など

評価

振り返りシート作成
個人面談*

ピア・ミーティング

* 担当職員が実施



活動紹介

1. フロアサポート

授業日の10時～17時まで、図書館の各フロアで図書館利用者のサポートを行っています。

【主な活動内容】

- ・資料検索、PC操作のサポート
- ・消しカスや返却本の回収
- ・困っている利用者への声掛け
- ・マナー違反者への注意喚起
- ・書庫案内
- ・プリンタ、コピー機用の紙補充



2. おすすめ本展示

3か月に一度のペースで、おすすめ本を紹介する企画を行っています。
毎回テーマを決めて、一人2冊程度紹介しています。



	2017年度	2018年度
5～7月	スポーツ	旅行
8～10月	絵本	宇宙や天文
11～1月	色	
2～4月	出会いと別れ	

ピア手作りのPOPは必見！
お楽しみに～♪



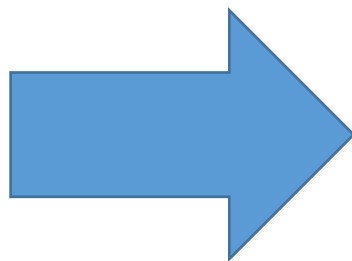


3. ピア・プロジェクト

より良い図書館作りをするための取り組みを企画・実行しています。

〈2017年度〉

- ・マナー係
- ・イベント係
- ・広報係
- ・書庫・ツアー係



〈2018年度〉

- ・マナー係
- ・イベント係
- ・広報係
- ・グッズ係 NEW !
- ・展示係 NEW !

☆企画書☆

各系の企画は、企画書にまとめて共有しています。

企画書の項目

- | | | |
|----------|---------|-----------|
| 1. 企画名 | 2. 実施目的 | 3. 担当者 |
| 4. 対象者 | 5. 実施日程 | 6. 実施場所 |
| 7. 広報手段 | 8. 企画概要 | 9. スケジュール |
| 10. 役割分担 | | |

添削を受けた企画書の一例

2018年6月22日

今後
係名を入れるように
してあげて
しゃん?

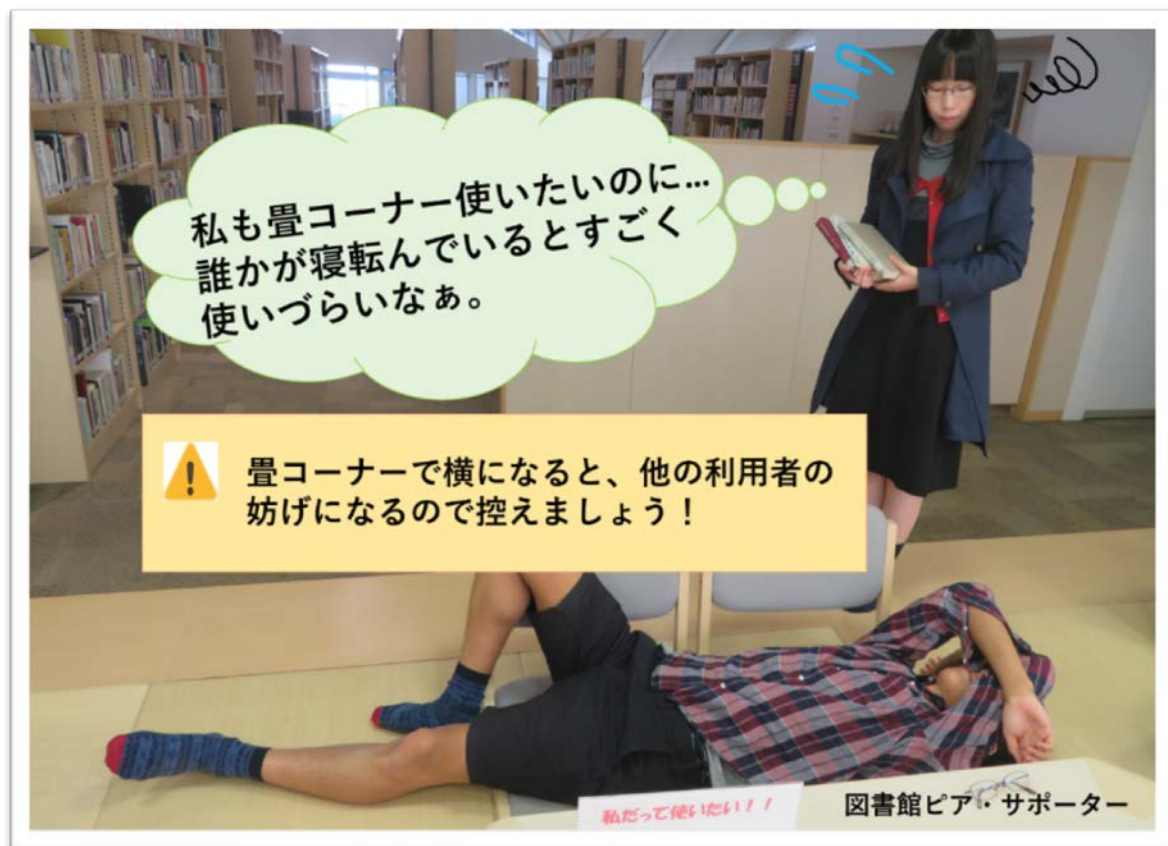
図書館ピア・サポーター ピア・プロジェクト企画書 ()

① 企画名	図書展示 (涼しさを感じる本)
② 実施目的	・テーマに沿った展示を行うことで利用者の図書に触れる機会を増やす。 ・他の学部や一般の方にもおすすめ本として紹介することで、本に興味関心を持って貰えるようなきっかけ作りを行う。
③ 担当者	【リーダー】長田【その他メンバー】香川、角田、岡田
④ 対象	図書館利用者
⑤ 実施日程	7月中旬から展示開始
⑥ 実施場所	ピアおすすめ本展示場所
⑦ 広報手段	・大学・図書館HP、図書館Facebook、Instagramでの広報、 Library Peer Times

図書館ピアに
できる新しい
おすすめ本
展示の手法を
模索することも
目的の一つ
だと思います。

← 早めに相談・報告にお願い。⑤でわたり貸出しお礼の

＜マナー係＞ ポスターの作成



<イベント係>

読書会の開催



<広報係>

Library Peer Times (LPT)

Library Peer Times

2018年6月発行 第22号 (2018年度 第1号)

図書館ピア・サポーターによる新聞「Library Peer Times」です。
図書館ピア・サポーターはM2階ラーニング・commons、2階カウンター、3階サブカウンターに待機しています。
図書館を利用している際、何かお困りのことがあれば気軽に声をかけてください。皆さんを優しくサポートします！！

★2018年度 図書館ピア・サポーター（継続メンバー）紹介

	① 名前 (ふりがな) ② 学部学科専攻学年/職員 ③ 好きな本 ④ 趣味・特技		「シェパード」です！ 図書館ピアのキャラもよろしくね♪
	① 宇野田 航平 (うのだ こうへい) ② 人間情報学部 人間情報学科 4年 ③ 田中隆弥『デニスは読者が9割』 ④ 音楽鑑賞・デニスやドミニオンすること		Galileo Galilei
	① 豊岡 大樹 (とよおか だいき) ② 法学部 国際政治学科 4年 ③ 小嶋広『もしアドラーが上司だったら』 ④ 読書、サッカー、ジョギング		
	① 西丸 拓也 (にしまる たくや) ② 法学部 法律学科 4年 ③ 我妻栄『法律における権威と人権』 ④ ビア、マンガを読む		
	① 源達 くるみ (わたなべ くるみ) ② 経済科学部 現代経済学科 4年 ③ 清水杜氏『うそつき、うそつき』 ④ サバゲー		
	① 中平 美幸 (なかつら みゆき) ② 人文学部 英語英文学科 3年 ③ ルイス・キャロル『不思議の国のアリス』 ④ ミュエル・エンゲ『はてしない物語』		
			① 山本 さくら (やまもと さくら) ② 人文学部 英語英文学科 3年 ③ 藤田マハ『サロメ』 ④ 読書、長風呂、いつでもどこでも寝ること

Library Peer Times

2017年11月発行 第20号 (2017年度 第2号)

図書館ピア・サポーターによる新聞「Library Peer Times」です。図書館ピア・サポーターはM2階ラーニング・commons、2階カウンター、3階サブカウンターに待機しています。図書館を利用して何かお困りのことがあれば全力でサポートしますので気軽に声をかけてください。

「2017年度第1回読書会」開催報告

2017年6月21日に図書館M2階ラーニング・commonsにて、図書館ピア・サポーター主催による「2017年度第1回読書会」を開催しました。

「お気に入りの小説」というテーマで行われた今回の読書会には、図書館ピア・サポーターを含めて合計9名が参加しました。読書会参加者には図書館ピア・サポーターが手作りした「ぴあっこのおしり」をプレゼントしました。しおりをプレゼントすることは初めての試みでしたが、参加者からは好評でした。

読書会に参加した学生からは「今回はお気に入りの小説というテーマだったので参加者の個性や趣味が垣間見える選書で話を聞いていて楽しかった」「その小説の背景や作者などそれぞれにこだわりがあり、選んだ理由を聞くのも興味深いものだった」といった声がありました。

なお第2回読書会は11月1日に開催しました。次回のLibrary Peer Timesで改めて報告させていただきます。参加してくださった皆様ありがとうございました！



☆紹介された本のリスト☆

沖方丁『天地明察(上)』
夏目漱石『こころ』
ルイス・キャロル『ふしぎの国のアリス』
和田竜『忍びの国』
川村元氣『世界から猫が消えたなら』
小川糸『にいたるガーデン』
三浦しえん『きみはボラリス』
小林多喜二『蟹工船・党生活者』
有川浩『空の色』
村上春樹『色彩を持たない多崎つくると、彼の巡礼の年』
J・K・ローリング『ハリー・ポッター』(シリーズ)
アントワーン・ド・サン＝テグジュペール『星の王子様』

参加してくれたみんな！ありがとう！
どの本から読もうか迷うな(´ω´)



<グッズ係> グッズの作成



＜展示係＞ おすすめ本の展示





4. 大学祭展示

イベントやおすすめ本展示などで使用したグッズを展示しました。



5. 図書館ピア成果報告会

☆開催目的☆

- ① 図書館ピアの活動への理解を深めてもらうため
- ② 学内で活動する他のピアとの連携を増やすきっかけとするため





昨年度の活動を振り返って

ピア・プロジェクトの成果と課題

成果

- 書庫受付看板の設置により、受付の場所のわかりやすさが向上
- 消しカス入れへの注意喚起ラベルの貼り付けによるマナー向上に向けた取り組み
- ゆるキャラを活用したグッズ作成
- インスタグラムを活用した広報力の強化

課題

- ツアーの企画を実施できなかった
- 利用者の目にとまりやすい注意喚起ができるかを考案することが大変だった
- 新規の参加者が増えないこと
- チーム内での進捗管理の甘さから予定が遅れがちだった

今後ピアが取り組みたいこと

- ・大学図書館学生協働交流シンポジウムへの継続的な参加
- ・大学祭への出展
- ・学内外の人との共同企画、図書館以外での活動
- ・利用者に楽しんでもらえる新たな企画
(クイズラリー、読書手帳など)



京都大学

第8回大学図書館学生協働交流シンポジウム
2018/9/6 於：広島大学

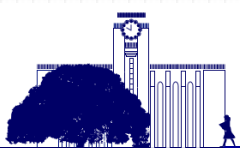
京都大学附属図書館の 学生協働

京都大学附属図書館利用支援課利用支援掛
小松原記子



1.

学生協働の概要



学生協働の概要

◆レポート・課題・文献の
探し方などの学習支援

◆スタッフは全員院生
＋英語堪能

◆専門性を活かした相談
にも対応

Facebookページ 

Learning Support Desk

場所：附属図書館1階
ラーニングcommons

学習相談受付中!

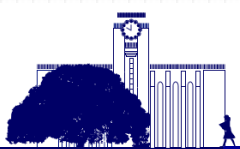
レポート・授業・調べもの

大学院生スタッフが、学習に関するご相談にお答えします。
事前予約もできます。お気軽にお尋ねください！ 2018/4

		月	火	水	木	金
13:00 ↓ 16:00	自己紹介 キーワード	市民社会論 イスラーム 南アジア ウルドゥー語	教育社会学 文化研究 東アジア 中国語・韓国語	情報学 中国語	政治と宗教 移民 フランス語	法制史 台湾研究 中国語
	所属	アジア・アフリカ 地域研究科 研究員	教育学研究科 修士2年 留学生	情報学研究科 博士2年 留学生	人間・環境学 研究科 修士2年	法学研究科 博士3年 留学生
16:00 ↓ 19:00	自己紹介 キーワード	政治学 国際関係論	物理学 天文学 数値計算	ツーリズム 東南アジア インドネシア語	政治と宗教 移民 フランス語	経済法 米欧競争法
	所属	人間・環境学 研究科 博士2年	理学研究科 博士1年	アジア・アフリカ 地域研究科 博士1年	人間・環境学 研究科 修士2年	法学研究科 博士3年 学際特別研究員

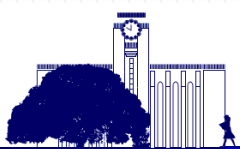
お問い合わせ：附属図書館利用支援部
Email: ref660@mail2.adm.kyoto-u.ac.jp

 京都大学附属図書館
KYOTO UNIVERSITY LIBRARY



学生協働の歴史

- 2013年10月 学習サポートデスクオープン
- 2014年4月 ラーニング・コモンズオープン
同時に学習サポートデスクを
ラーニング・コモンズ内に移設



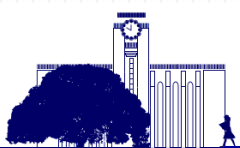
活動内容

- ミーティング 隔月1時間半程度
- 各種イベント
英語・中国語図書館ツアー、レポート執筆講座、
オープンキャンパスでの学生生活報告、
プレゼン講座など
- 図書展示
スタッフの専門分野入門書紹介



2.

イベントの内容



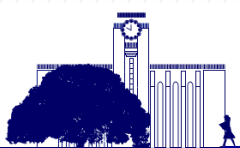
図書館ツアー パソコン実習

留学生向け図書館ツアー



中国語による 文献収集講習会





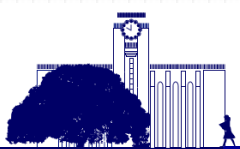
図書館ツアー パソコン実習

留学生向け図書館ツアー



レポート執筆講座
LaTeX講習会

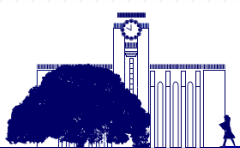




ラーニング・コモンズでの講習会

レポート執筆講座
文献管理講習会

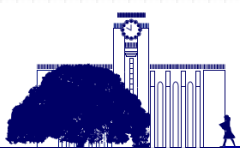




オープンキャンパス

学習サポートデスクの
先輩と話そう





図書展示

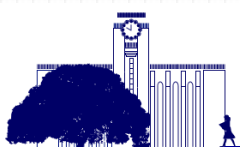
学習サポートデスクの
おすすめ本





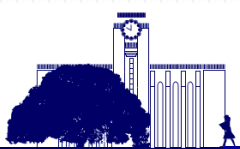
3.

学生協働 利点と問題点



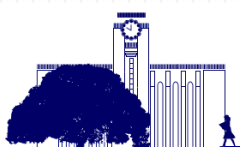
利点

- 学生同士なので立場が近い
- 実体験に基づいて話すことができる
- 教員を目指すスタッフの職務経験になる
- 図書館職員と異なる発想・スキル



問題点

- 職員が意図した内容とギャップがある場合がある
- 同じイベントでも担当者の得手不得手・性格によるバラツキが大きい
- トレーニングプログラムが不十分



問題点

- 認知度はまだまだ低い
- 学習相談件数・イベント参加者をどうやって増やすか
- 学内他部署や他図書館との連携が不十分

島根大学

“個”から“チーム”へ —ビジョンの共有と具体的な研修—

島根大学図書館コンシェルジュ
立石彩夏（2年） 長廻圭祐（2年）

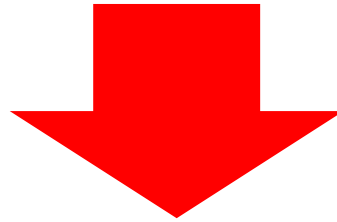
発表内容

- 1、はじめに
- 2、チームビルディング研修
- 3、各種実施講座・研修
- 4、まとめ



昨年度の全体報告会にて...

「チーム活動になっていないのでは？」



チームの活動の目標とは？



来館者を増やす



何の為に増やすの？

利用者が満足できる



具体的にどう満足するの？

一度みんなで考えてみよう！

チームビルディング研修 概要

講師：荒川長巳 先生（元島根大学教授）

目的：①図書館コンシェルジュのビジョンの共有
②チーム活動の活性化

チームビルディング

お気に入りのものは？

偏愛マインドマップ
(好きなこと紹介)

質問タイム

UNGAME
(自己表現ゲーム)



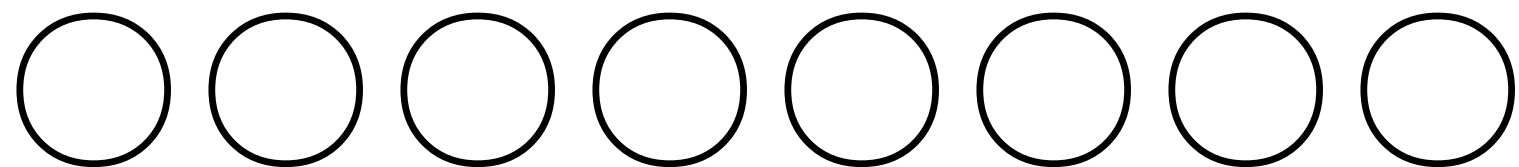
ビジョンの共有に向けて

ワールドカフェ



ビジョンの共有に向けて

「私たちの活動の結果、



となることを目指します」

ビジョンの共有に向けて

班に分かれ成長経験の共有



「1年後最高だったね！と言えるコンシェルジュ活動」
について話し合う



班の意見を集約し最終的な目標をつくる

私たちの活動の結果、^{魅力のある}

A 今まで利用していなかった人も行きたくなくなるような図書館

B ~~は~~ コンシェルジュ みんなで利用者のニーズに応えられる
図書館

C コンシェルジュも図書館利用者も楽しく成長できる図書館

D コンシェルジュが個人を尊重しつつ、^{ともにまをす}
団体となることで、様々な利用者が足を運ぶ図書館

となることを目指します

楽しく成長

行きたくなる魅力



**利用者のニーズに
応える**

**コンシェルジュも
利用者も成長**

ビジョンの共有に向けて

「私たちの活動の結果、
**コンシェルジュも利用者も楽しく
成長し、利用者のニーズに
応えられ、かつ行きたくなる
魅力を持った図書館**
となることを目指します」

チームビルディング研修の総括

- ①活動をする上での方向性を設定できた
- ②参加者同士の関係が構築できた
- ③自分たちの活動を振り返ることができた



目標では「コンシェルジュも成長」することが必要！



色々なスキルを身に付ける必要があるのでは？



学ぼう！留学生と話すコツ！

講師：松田みゆき 先生（ボランティアグループ
「まつえりあ日本語教室」代表）

目的：留学生と日本語で話す技術を学ぶ

**「やさしい日本語」
⇒「優しい」「易しい」**



**ちょっと言い換えた
日本語で大丈夫！**

伝えたいことが伝わる！ ビジュアルデザイン基礎講座

講師：高須佳奈 先生（地域未来協創本部）

目的：パワーポイントを活用したデザイン力の向上



すぐに実践できそうなこと
がたくさんあった！



「目を肥やす」ことも
重要！

求む！バトラー！！

ビブリオバトルとは？！

誰でも参加できる本の紹介
コミュニケーションゲームだ！
参加者（バトラー）は持ち時間内で
本の紹介をするぞ！
そして聞き手が最も読みたくなった本に投票して
「**チャンプ本**」を決めるのだ
言葉と本のみで紹介を行うのがポイント！

日時

8/4(土)12:45～13:45
8/5(日)12:00～13:00

場所

附属図書館1階
ラーニングコモンズ1

事項

オープンキャンパスで高校生にむけて
行います！やりたい島大生はぜひ！

申込期限は7月28日(金)まで
申込は図書館カウンターまたは
shimane.lib.cm@gmail.comまで！

主催：図書館コンシェルジュ

斜めにすることで強調！

同じ緑系統の色を使用
⇒強調度合いの変化

キャラクターをぼかして
ちょっとカッコよく！

ファシリテーション研修会

講師：荒川長巳 先生（元島根大学教授）

目的：ファシリテーション技術を身に付ける

まとめ①

目標が共有できていないと活動の方向性が定まらない

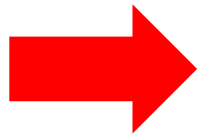
① 今後は作った目標に沿った企画を行っていかなければならない

② 活動に参加できていないメンバーへの目標の共有が課題



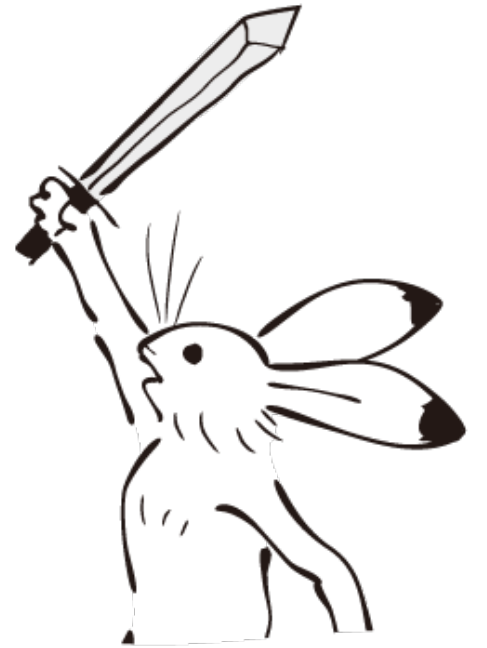
まとめ②

**よりよい活動を行うためには
様々なスキルも必要！**



今後もスキルアップを目指す！

例 プレゼンの仕方
ファシリテーション研修



ご清聴ありがとうございました！

